メタコリン塩化物

プロボコリン吸入粉末溶解用 100 mg

ケンブラン吸入粉末溶解用 100 mg

第 2 部（モジュール 2）

2.6.1　緒言

株式会社三和化学研究所

参天製薬株式会社

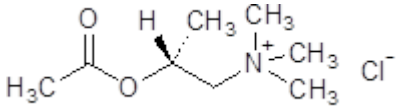
目次

2.6.1.　緒言 ····· 3
2.6.1.1.　構造式及び薬理学的特性 ····· 3
2.6.1.2.　予定する効能・効果及び用法・用量 ····· 3

2.6.1. 緒言

2.6.1.1. 構造式及び薬理学的特性

メタコリン塩化物（以下，メタコリン，図 2.6.1-1）は，溶液として吸入投与される副交感神経作動性（コリン作動性）の診断用の気管支収縮薬である。



及び鏡像異性体

図 2.6.1-1 メタコリン塩化物の化学構造式

気管支平滑筋の収縮及び気管支分泌物の増加は，副交感神経刺激によりアセチルコリンが気管支平滑筋細胞及び気管支腺のムスカリン受容体に作用することで引き起こされる。メタコリンはアセチルコリンの β-メチル同族体であり，アセチルコリンと比較してアセチルコリンエステラーゼによる代謝速度が遅く，作用持続性を有している。また，強力なムスカリン受容体刺激作用を有する一方で，ニコチン受容体にはほとんど作用しない。

2.6.1.2. 予定する効能・効果及び用法・用量

今回の申請で予定する効能・効果及び用法・用量を以下に示す。

予定する効能・効果

「気道過敏性検査」

(1) 本剤は検査専用の気管支収縮薬であり，気道過敏性検査にのみ使用すること。

(2) 本剤による気道過敏性検査は，非典型的な臨床像を呈する場合の気管支喘息の確定診断，職業喘息の可能性がある場合の確定診断，喘息治療のモニタリング，喘息重症度の客観的な評価等の際に実施を検討する。

予定する用法・用量

メタコリン塩化物 100 mg（1 バイアル）に日局生理食塩液を加えて溶解及び希釈し，通常 0.039-25 mg/mL の範囲の適切な希釈系列の希釈液を調製する。成人及び小児ともに，調製した希釈系列の低濃度よりネブライザーを用いて吸入し，気道過敏性検査を実施する。